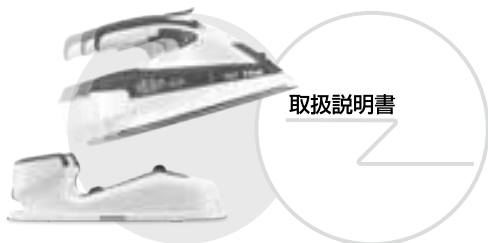


ティファール コードレス スチームアイロン フリームーブ パワー



目次

FV99* シリーズ

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	6
● 本体パネル表示 ● ドライ／スチーム切替トリガー	7
● 絵表示の見かたと温度の関係	8
● カバーの取りはずし方／取りつけ方	9
● ディスプレイパネルの見かた	10
ご使用前に…	11
ご使用方法	13
● 水の入れ方	13
● スチームのご使用前に	14
● スチームアイロンとして使うには	16
● ジェットスチームを使うには	17
● パーチカルスチームを使うには	18
● ドライアイロンとして使うには	19
● ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには ● 自動停止安全機能	20
● 使い終わったら	21
お手入れ方法	23
● アイロン ● かけ面	23
● スタンドのお手入れ ● セルフクリーニング	24
● 水あか防止バルブのクリーニング	26
● かけ面のクリーニング	27
故障かなと思ったら	28

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示(記号)がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグをコンセントから抜く

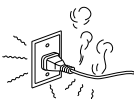


接触禁止

⚠ 警告

- ❗ 電源は、一般家庭用100V、50/60Hzを使用してください。間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があります、保証は無効となります。

- 🔥 使用中、電源プラグ/電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止してください。ショートや発火する恐れがあります。

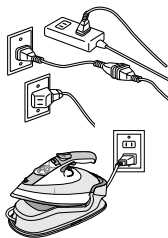


- 🚫 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

- 🚫 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。

- ⚡ 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

- ❗ ●アイロンは、単独で使用してください。
- 2口コンセントの場合は片方の差し込み口を空けたままで使用してください。
- コンセントに差し込む前に、電源プラグを持ってスタンドからコードを完全に引き出してください。
- 延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。





●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



●電源プラグのほこりなどは定期的に取りってください。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意



●コードを収納するときは、電源プラグを持ち巻き取ってください。

プラグが当たって、けがの原因になります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。



●アイロンが冷えている場合を除き、電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。



●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。





●電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。


また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。


電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。


損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。


 万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しないでください。その際、本製品は分解しないでください。危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。


 本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。


 ドライ／スチーム切替トリガーを連続して速くひかないでください。湯滴漏れによるやけどの原因になります。


 アイロンの本体のかけ面とスタンドは大変高温になっているので、火傷する恐れがあります。決してそれらには触れないでください。また、コードをアイロンかけ面に絶対に触れないようにしてください。

 アイロンには既定のスタンドとカバー以外は使用しないでください。

 スタンドにカバーがかかっているときにスタンドをコンセントに接続しないでください。

 アイロンは常にスタンドに置き、立てて置かないでください。アイロンとスタンドは、平たく安定していて熱に強い場所で使用してください。スタンドにアイロンを置く際は、安定した場所に置かれていることを確認してください。また、アイロンがスタンドに完全に接続されていることを確認してから手を離してください。

 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

 給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になります。



高温になる部分(かけ面など)に触れないでください。
やけどの原因になります。



熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。



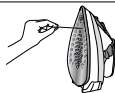
本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。

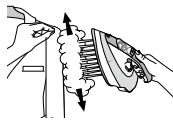
※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分気をつけてください。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。
故障の原因になります。



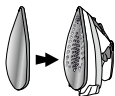
コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離して
スチームをかけてください。皮革製品・絹などには
使用しないでください。
衣類を傷める原因になります。



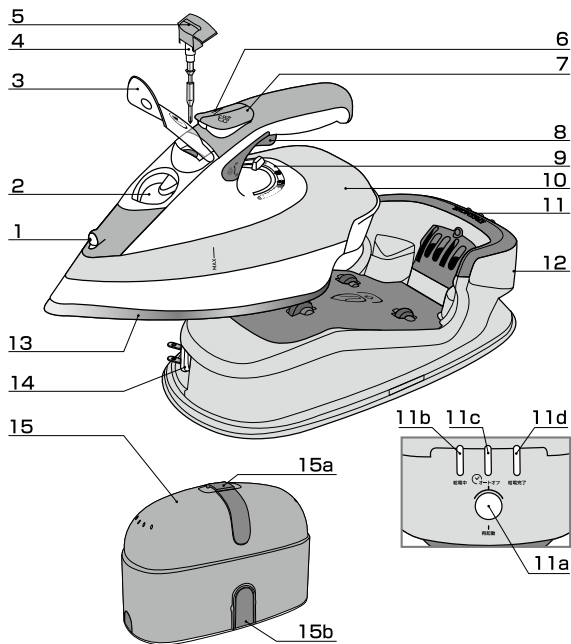
高級品や特殊加工品などには目立たない所に
ためしがけをしてください。

特にご注意 ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて
使わないでください。
誤動作の原因になります。






各部の名前とはたらき



- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. ワンタッチスプレーノズル | 11. ディスプレイパネル |
| 2. 注水口 | 11a. 再起動ボタン |
| 3. 注水口カバー | 11b. 緑点滅“給電中” |
| 4. 水あか防止バルブ | 11c. オレンジ点滅“自動停止”稼働中 |
| 5. 水あか防止バルブ取り出しボタン | 11d. 緑点灯“給電完了” |
| 6. ワンタッチスプレー
(霧吹きボタン) | 12. スタンド(給電台) |
| 7. ジェットスチームボタン | 13. かけ面 |
| 8. ドライ/スチーム切替トリガー | 14. コード/コードリール |
| 9. 温度設定レバー | 15. カバー |
| 10. 水タンク | 15a. カバーハンドル |
| | 15b. スタンドクリップ |

● 絵表示の見かたと温度の関係 ●●●●●●●●●●



衣類に表示されている取り扱い絵表示 (一部参考例)

絵表示	アイロンのかけ方
	あて布をして高温でかけてください。 ～線は指示温度であて布をするという意味です。
	低温でかけてください。
	アイロンかけはできません。

※その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表

(表示されているかけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定 レバーの位置	ドット表示	ドライ/スチーム 切替トリガー	かけ面の温度 (目安)
合成繊維 アクリル・ナイロン ポリエステル・アセテート など	合成繊維	● 100℃		約50℃
絹	絹			約100℃
羊毛	羊毛	●● 130℃		約130℃
木綿・麻	木綿・麻	●●● 180℃		約175℃

 ドライゾーン  スチームゾーン

*あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維(合成繊維・絹・羊毛など)にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。
※アイロンかけの前に衣類を分けておけば能率的です。

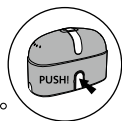
注意

- 低温から高温に温度を変更した場合、給電完了ランプが点灯しても、十分温まるまで給電をくり返してください。
- 温度設定レバーを下げる場合、衣類を焦がさないよう、一度スタンドにアイロンを置いて温度が下がるまでしばらく待ってください。
- 念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。

● カバーの取りはずし方／取りつけ方 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

〈使用前〉

両サイドのスタンドクリップの上を同時に押しながら持ち上げ、カバーを取りはずします。



〈使用后〉

十分かけ面が冷えていることを確認し、カバーを真上からかぶせてください。スタンドクリップがカチツと音を立ててロックされたことを確認します。



注意

- 電源コードがコンセントに接続した状態でカバーをかぶせないでください。
- アイロンかけ面が熱い状態でカバーをかぶせないでください。

**この取扱説明書をよくお読みください。
アイロンを加熱する前に、かけ面からラベル類を剥がします。**

- 初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくることはありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には10回ほどジェットスチームボタンを押してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングも行ってください。(24ページ) ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

- スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、リネンウォーターなどを加えた水などはご使用にならないでください。アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。

- 初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかることがあります。

その場合は、14ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、ジェットスチームボタンを10～15回程押し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。

ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

- のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ(スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

- 温度設定は正確にしてください。

8ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。

- 温度設定使用中、使用後、アイロン内部から金属音がすることがありますが、異常ではありません。

アイロン内部にある水漏れ防止用のバイメタル(金属)が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

ご使用方法

● 水の入れ方 ●

スチームやワンタッチスプレー(霧吹き)を使う場合は、水タンクに水を入れます。

- ① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。



- ② アイロンをスタンドから取り外します。

- ③ 注水口カバーを持ち上げます。



- ④ 水タンクのMAXマークまで水を入れます。

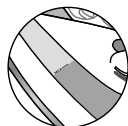
※水あか防止バルブがセットされていることを必ず確認してください。

※水はMAXより入れすぎないように注意してください。
水漏れの原因になります。

※電源プラグ、コード、アイロン本体、スタンドに水がかからないようにご注意ください。

※ドライ/スチーム切替トリガーをひかないでください。
水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

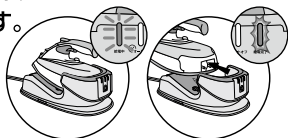
※本体に水がかからないようにご注意ください。
故障の原因になります。



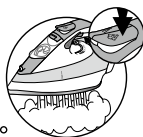
- ⑤ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

- ⑥ アイロンをスタンドに戻します。

- ④ アイロン給電中はディスプレイパネル
左の緑色のランプが点滅しています。
右の緑色ランプが点灯したら
準備完了です。



- ⑤ かけ面を下にして浮かせて、
2、3回ジェットスチームボタンを
押してスチームを出してください。



※作業を中断する際、アイロンは立てず、
スタンドに置くようにしてください。



※初めてお使いになるときは、スチームが出るまで多少時間が
かかることがあります。その場合、ジェットスチームボタンを
10～15回程度押してください。

※その際、湯滴が落ちることがありますので、ご注意ください。

● スチームアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●

※温度設定レバーを「合成繊維」または「絹」にセットしたときは、ドライ／スチーム切替トリガーをひかずにアイロンを使用してください。湯滴漏れの原因になります。

※繊維に合わせて温度設定レバーをセットしてください。

※初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

※ドライ／スチーム切替トリガーを引いてもスチームが出ないときは、トリガーを引きながらアイロン本体をゆっくりと前後に動かしてください。

- ① 水タンクに水を入れます。

(13ページの「水の入れ方」を参照してください。)

- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ 繊維の種類に合わせて、温度設定レバーをスチームゾーン内でセットします。



- ④ ディスプレイパネル左の緑色のランプの点滅が停止し、右の緑色のランプが点灯したら準備完了です。



- ⑤ ドライ／スチーム切替トリガーをひき続けるとスチームが出ます。ドライ／スチーム切替トリガーを離すとスチームは止まります。



注意!

- かけ面の温度が十分温まっていることを確認してください。
- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、ディスプレイパネル左の緑色のランプの点滅が停止し、右の緑色のランプが点灯してからアイロンをかけてください。

● ジェットスチームを使うには ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームボタンを押してください。強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。

注意!

- 温度設定レバーを「合成繊維」「絹」にセットしたときは、ジェットスチームを使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。
- 温度設定レバーを「羊毛」「木綿」「麻」にセットしたときに使えます。
- 温度設定レバーを「麻」にセットしたときに一番パワフルにスチームが出ます。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。



● バーチカルスチームを使うには ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

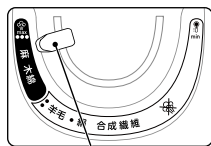
注意!

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。

お願い

- 熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

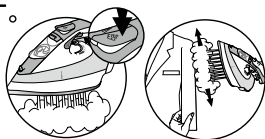
- ① アイロンをスタンドに載せ給電し、温度設定レバーを「麻」にセットします。ディスプレイパネルの緑色が点灯するのを待ちます。



温度設定レバー

- ② 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。
- ③ ジェットスチームボタンを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。

※連続して、ジェットスチームを使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。



※バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。

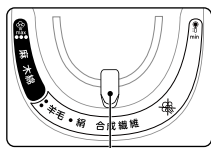
※ディスプレイパネル左の緑色のランプの点滅が停止し、右の緑色のランプが点灯してからご使用ください。

※水量が少ないと出にくくなります。

● ドライアイロンとして使うには ●●●●●●●●●●

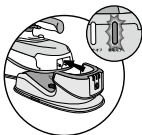
- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ② 繊維の種類に合わせて、
温度設定レバーをセットします。
(8ページの「温度設定目安表」を
参照してください。)



温度設定レバー

- ③ ディスプレイパネル左の緑色のランプの
点滅が停止し、右の緑色のランプが点灯したら、
準備完了です。



- ④ ドライ／スチーム切替トリガーをひかずに
アイロンかけをしてください。

※ドライアイロンとして使用していても、水タンクに水が入っていて温度設定が「麻」「木綿」「羊毛」であれば、一度にたくさんのスチームを出すジェットスチーム(17ページ)やバーチカルスチーム(18ページ)が使用できます。

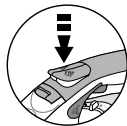
※ドライアイロンとしてのみご使用になる際は、水タンクに水を入れなくても、ご使用になれます。

● ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには ● ● ● ● ● ●

注意!

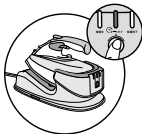
- 絹にはスプレーしないでください。
布地を傷めることがあります。

ワンタッチスプレーボタンを押すと、
ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。
スチームまたはドライで使用しているも、
水タンクに水が入っていれば使えます。

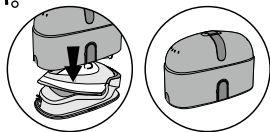


● 自動停止安全機能 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 通常使用時は、自動停止のランプは消えています。
- アイロンをスタンドに8分以上放置しておくと、電源が切れ、ディスプレイパネルのオレンジ色のランプが点滅します。
- 再スタートするには、ディスプレイパネルの再起動ボタンを押すと、自動停止安全機能が解除され、自動停止のランプが消えます。

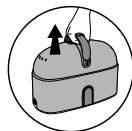


- ⑦ アイロンのかけ面が冷えてから、カバーをかぶせます。
両サイドのスタンドクリップがカチッと音を立てて
ロックされたことを確認してください。



- ⑧ 持ち運び時は、カバーのハンドルを使用してください。

※持ち運ぶときは確実にロックが
されていないと、カバーが外れ、
アイロンとスタンドが落下する
恐れがあります。



注意!

- かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- カバーはアイロンかけ面が冷えたのを確認してから、かぶせてください。

- ⑤ アイロンをスタンドから外し、流し台などの上で水平に持ち、取り出しボタンを手前に引きながら上方向に引っ張り、水あか防止バルブを取り外します。

※このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。



- ⑥ この状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。蒸気(および不純物)がスチーム穴から排水されるまで、シンクの上でドライ/スチーム切替トリガーをひきながら、アイロンを前後に軽く振ります。

※十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。



注意!

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。
- お湯が出た場合は、トリガーをはなし、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してから、アイロン本体をスタンドに戻してください。

- ⑦ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の場所に戻し、カチッと音がするまで押します。



お願い

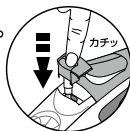
- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずセットしてください。

- ⑧ アイロンをスタンドの上に置き、かけ面を乾かします。

- ⑦ バルブの先端部分を水道水ですすぎ洗いをします。



- ⑧ 水あか防止バルブを本体に戻します。
カチッと音がするまで押し、
固定してください。



お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの際は、忘れずセットしてください。

● かけ面のクリーニング*

※FV9985シリーズのみ

- 本製品の「オートクリーンかけ面」は触媒作用を利用し、アイロン使用中に発生する、かけ面上の不純物を取り去る働きをします。しかし通常の使用状態でない場合（不適切な水や柔軟剤など）、かけ面上に汚れが残る場合があります。
- 汚れが付いたときはすぐに取りってください。
そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり
布地を汚す恐れがあります。
また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

警告!

- 研磨布を使用すると、かけ面のセルフクリーニングコーティングを傷つけてしまいます。

故障かなと思ったら


考えられる原因		対処方法
状況	アイロンが熱くならない	
	●温度設定レバーの位置が正しくない。	●温度設定レバーの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
	●スタンドの電源プラグがきちんと入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
	●アイロンがきちんとスタンドに載っていない。	●アイロンがスタンドに完全に接続されていることを確認してから給電してください。
状況	スチームが出ない、または十分ではない	
	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(12ページ)
	●ドライ／スチーム切替トリガーをひいていない。	●ドライ／スチーム切替トリガーをひいてください。
	●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定レバーをスチームゾーンにセットしてください。(7ページ)
	●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
	●スチーム穴が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。(24ページ)
	●水あか防止バルブが汚れている。	●水あか防止バルブをクリーニング(26ページ)してください。
	●アイロンに水あかがたまっている。	●水あか防止バルブをクリーニングし(26ページ)、セルフクリーニング(24ページ)を行ってください。

考えられる原因		対処方法	
状況	スチームが出ない、または十分ではない		
	●水を入れずにドライのみを長時間使用した。	●セルフクリーニング(24ページ)を行ってください。	
	●給電が不十分である。 ●かけ面が十分に温まっていない。	●効率的に作業するために、随時アイロンをスタンドに置いて給電してください。	
●ドライ/スチーム切替トリガーを使用していない。	●一定量のスチームを出すにはドライ/スチーム切替トリガーをひいたままにしてください。		
状況	水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た		
	●ドライ/スチーム切替トリガーをひいて使った。	●注水時には絶対にドライ/スチーム切替トリガーをひかないでください。	
状況	水が漏れる		
	●ドライ/スチーム切替トリガーの使用回数が多すぎる。	●スタンドに戻して給電してください。	
	●ジェットスチーム、バーチカルスチームを連続で使用した。	●ジェットスチームボタンを連続使用する場合少なくとも4秒間あけてください。	
	●温度設定レバーがドライゾーンにあるのに、ドライ/スチーム切替トリガーをひいた。	●ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用するときは、温度設定レバーをスチームゾーンに合わせてください。	
	●設定温度になる前にドライ/スチーム切替トリガーを使用した。	●ディスプレイパネル左の緑色のランプの点滅が停止し、右の緑色のランプが点灯したら使用してください。	
	●水タンクに水を入れすぎた。	●水量は多くてもMAXマークまでにしてください。	

考えられる原因		対処方法
状況	水が漏れる	
	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンクを空にせず保管した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アイロンかけ後は、21ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、スタンドに置いた状態で保管してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●注水口のふたをしっかりと閉めていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●注水口のふたはしっかりと閉めてください。
状況	スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる	
	<ul style="list-style-type: none"> ●化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●不適切な水を使用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●セルフクリーニング(24ページ)を行い、13ページを参照して水道水を入れてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●セルフクリーニング(24ページ)を行い湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的なスチーム穴をクリーニングしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。改善せず修理をご希望の場合は、販売店又は、修理センターにご連絡ください。
状況	かけ面が汚れるあるいは茶色くなり、布地にシミができる	
	<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度が高すぎた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●かけ面の汚れを取り除いてください。 ●8ページの「温度設定目安表」を参照してください。

考えられる原因		対処方法	
状況	かけ面が汚れるあるいは茶色くなり、布地にシミができる		
	●布地に洗剤やのりが残っている。	●のりを使用する場合は、あて布をしてください。(12ページ) ●かけ面の汚れを取り除いてください。	
状況	かけ面にキズがついたまたは破損した		
	●アイロンをスタンドに置かずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。 ●研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	●アイロンは常にスタンドに置いてください。 ジッパー上の使用は避けてください。 ●かけ面の交換や修理が必要な場合は、販売店又は、修理センターにご連絡ください。	
状況	かけ面からゴミが出る		
	●水あかがかけ面に付いている。	●セルフクリーニング(24ページ)を行ってください。	
状況	アイロンをスタンドに置くと、ディスプレイパネルの赤いランプが点滅する		
	●アイロンとスタンドが適切に接続されていない。	●アイロンがスタンドに完全に接続されていることを確認してください。	
状況	ワンタッチスプレーが出ない		
	●水タンクに十分な水が入っていない。	●水タンクに水を入れてください。 ●最初はスプレーが出にくいことがあります。10~20回ボタンを押してください。	

考えられる原因	対処方法
状況	アイロンが冷たくなってしまふ
●一定の間隔でアイロンをスタンドに置いていない。	●アイロンがけをする衣類を取り換える間など、随時アイロンはスタンドに置いてください。
状況	コードリールがコードを巻きとらない
●コードがねじれている。	●ねじれているコードをのばし、軽くコードを引っ張ってください。



愛情点検

長年ご使用のアイロンの点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

▼

ご使用中止

このような症状が見られるときは、故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて必ず修理センター、又は販売店で点検・修理をご相談ください。

●仕様

製品名	フリームーブ パワー
電源	100V 50Hz/60Hz
定格消費電力	1400W
温度ヒューズ	390℃
アイロン本体 サイズ	(D)約27cm×(H)約15.5cm×(W)約12.5cm
スタンドサイズ	(D)約33.5cm×(H)約10.5cm×(W)約17cm
カバーサイズ	(D)約33.5cm×(H)約20.5cm×(W)約17.5cm
アイロン+スタンド サイズ	(D)約33.5cm×(H)約17cm×(W)約21cm
アイロン+スタンド+ カバーサイズ	(D)約34cm×(H)約23cm×(W)約17.5cm
本体重量	約 1.35 kg
コード長さ	約 1.6 m
タンク注水量	約 250 ml
オートクリーンかけ面	●※FV9985シリーズのみ
ワンタッチスプレー (霧吹き)	●
パーチカルスチーム	●
水あか防止バルブ	●
水漏れ防止機能	●
カルキ防止	●
自動停止安全機能	●

※仕様、デザイン、価格は変更になることが
ありますのでご了承ください。

Made in France

製品保証書

環境に対する真摯な取り組みの一環として、ほとんどのティファール製品は保証期間中及び保証期間経過後も修理が可能となっております。製品に不良が生じた場合は、販売店へ返品する前に、裏面に記載されているグループセブ ジャパン修理センターへご相談ください。適切な修理方法をご提案させていただきます。持続可能な環境への取り組みに、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

保証

本製品については、購入日から1年間、本製品のすべての部分の材料又は製造上の不良について、グループセブ ジャパンが保証を履行します。

本保証では、不良製品を本来の仕様に回復するために必要な、修理又は不良部品の交換等を行い、修理又は交換に要したあらゆる費用を賄います。グループセブ ジャパンの判断により、不良製品の修理をする代わりに同等製品と交換をさせていただきます場合もございます。

本保証におけるグループセブ ジャパンの義務は上記の修理又は交換に限定されます。

本製品に不良が生じた場合は、グループセブ ジャパン修理センターへご連絡、相談、梱包の上、宅配便や配達証明付の郵便等で、グループセブ ジャパン修理センター宛にお送りください。

保証の条件及び対象

本保証は、日本国内において、本製品及び有効な本保証書のご提示があるときのみ適用されます。

グループセブ ジャパンは、有効な本保証書のご提示がない製品について、本保証の対象外とさせていただきます。

本保証ではお客様の誤使用、不注意、製品取扱説明書の不遵守、製品に印された以外の電流・電圧での使用、改造や不当な修理の結果として生じるいかなる損害も補償しません。また、通常の消耗、消耗部品のメンテナンスや交換も適用されません。

さらに以下の場合にも保証は適用されません。

- ・ 不適切な種類の水や消耗部品の使用による故障及び損傷
- ・ 水垢(水垢の除去は取扱説明書に従って行ってください)による故障及び損傷
- ・ 浸水、埃や虫の侵入による故障及び損傷
- ・ 物理的損傷、過負荷による故障及び損傷
- ・ 不適切な電圧や周波数での使用による故障及び損傷
- ・ 火災、洪水、落雷等を含む災害による故障及び損傷
- ・ 業務用や商業用での使用による故障及び損傷
- ・ 製品のガラス部や磁器部の損傷
- ・ 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、又は字句を書き替えられた場合

本保証は改造された製品、不適切な使用や手入れ、所有者の不十分な梱包又は輸送業者の不適切な取り扱いにより生じた損傷には適用されません。

本保証は日本国内で購入された製品に限り適用されます。

本保証はおお客様の法律上の権利を制限するものではありません。本保証書による保証のほかに、販売店は、お客様に対して瑕疵担保責任等の法律上の責任を負っています。本保証書の発行によって、こうした販売店の責任を軽減したり免除したりといった影響を及ぼすものではありません。

本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

本保証書は、本保証書に明示した期間と条件のもとに修理をお約束するものです。したがって、保証期間経過後に発生した不良については有料修理となります。

本保証書にご記入いただいた個人情報、保証期間内のサービス活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

アクセサリ等のご購入について

アクセサリ、消耗部品、又は交換部品は、グループセブ ジャパン部品注文センターにて購入可能なものもございます。お求めの際は、グループセブ ジャパン部品注文センターへご連絡ください。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町11-1
羽田クロノゲート7階 YMM内

お客様相談センター

部品注文センター

修理センター



0570-077772

ナビファイナル。受付時間9:00~18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)



0570-086072

ナビファイナル。受付時間9:00~18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。 ※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。